

第29回日本緩和医療学会学術大会
第37回日本サイコオンコロジー学会総会
合同学術大会 交流集会21

通院治療中・治療後の 身体活動を増やしQOL改善をめざす —運動支援の実際と普及に向けて

■日時：2024年6月15日（土） 8:00-9:00

■会場：第11会場（神戸国際展示場 1号館2階B）

『がんリハビリテーションの実際と退院後・外来通院中の運動支援の必要性』

田宮 大也 大阪国際がんセンター リハビリテーション科

『がんサバイバー、がん患者に関わる看護師の運動支援の実態』

玉井 なおみ 名桜大学 人間健康学部看護学科

『退院後・外来通院中のがんサバイバーへの運動支援の実際』

—ルネサンス運動支援センターの事例—

石野田 神 （株）ルネサンス アクティブエイジング部 がんリハビリ事業研究チーム

—キャンサーフィットネスの事例—

広瀬 真奈美 一般社団法人キャンサーフィットネス 代表理事

指定発言 辻 哲也 慶應義塾大学医学部

* 各地域ごとの交流



企画・座長 福井里美 東京都立大学健康福祉学部看護学科

池知良昭 香川県立丸亀病院 認定作業療法士・専門作業療法士(がん)

企画・協力 田尻寿子 静岡県立静岡がんセンター 作業療法士

塩島永子 東京都立駒込病院 がん化学療法看護認定看護師

合同学術大会
ホームページ↓

